

2006年8月30日

2006 サマースクール

(有)ePI-NET 環境・情報ネットワーク総研
代表 原口 竜一

今年で6回目となる、日本情報地質学会主催のサマースクールが岡山県北部蒜山にある岡山理科大学の自然研究所で、8/23～25までの3日間開催されました。今年は参加者が30名となり、例年の2倍近くの参加がありました。参加した学校は大阪市立大学をはじめ、岡山理科大学、大阪大学、早稲田大学、近畿測量専門学校となり、これからこの業界を担う若者達が集う良い交流会となりました。

初日は15時から「Terramod2001のインストールと物理探査データの表示法」と題しまして、大阪市立大学の大学院生である遠藤さんと江川さんが講師として講義が始まりました。



写真1;講師の遠藤さん



写真2;真剣な表情の参加者

合宿二日目は「地形図からDEMを作る方法」と題しまして、岡山理科大学 能美講師による講義と昨日に引き続き遠藤さんと江川さんによる「Geomodel2000」が始まりました。最後の方になると自分で問題を解いたり、オリジナルの方法を見つけたりして、完全にマスターして自分のものになっている様子でした。持参したパソコンの中で、3次元の図が出来上がる度に一喜一憂していました。

二日目の夜は蒜山名物であるジンギスカン料理を食べながらの親睦会が開かれ、多少照れながらもお互いに親交を深めていました。



写真3;図が完成し満足する生徒



写真4;ジンギスカンを食べる参加者

最終日は現場の声を聞くという意味で中国地質調査業協会より、「地質コンサルタント業界と電子化（仮題）」について復建調査設計技術研究所の亀田 雄二さんにご講義をしていただけることになりました。

後に参加者の声を聞くと、これまで自分だけで満足していた世界を、今回のサマースクールをきっかけとして広げることによって、人脈の繋がりもでき、彼ら自身がこれから活躍するフィールドを大きくするには十分な勉強会だったと思います。これからも若者を対象としたこのような機会がたくさん設けられることを期待しています。



写真 5；亀田 雄二さんの講演模様



写真 6；参加者同士のお菓子の奪い合い!?

参加者の声；

近畿測量専門学校 太田君

今回参加をし、良い経験をさしてもらいました。以前から GIS に興味を持っていた私ですが、あまり知識もなかったただ少しでも身に付いたらと思い参加をしました。参加した人達と交流をすることで、いろんな情報交換も出来ました。講義自体は難しかったです。聞いたこともないような用語が使われたりしていたので理解するのが大変でした。それでも PC の使い方さえ覚えれば付いていくことは出来ました。私が求めていた知識が身についたかは解りませんが、参加をして良かったと思っています。

近畿測量専門学校 中道君

今回のサマースクールは、参加者の皆さんにとって、とても有意義な時間を過ごすことになったと思います。

大学生と専門学生と一緒に肩を並べ講習を受けるというのは、私にとっていい刺激になりましたし、サマースクールを通して研究生に測量というものを知ってもらえたことは大変嬉しく感じました。

お互いのメリットを活かし、大学生と専門学生が交流する機会を積極的に作っていくことがこれからの課題ではないかと思ひますし、そのような機会があれば是非参加したく思ひます。